

健康医療スポーツ学部 リハビリテーション学科

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下 CP）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得科目の充実など、教育方法に工夫を重ねながら、教育内容の向上に取り組んでいます。

【教育方法】

リハビリテーション学科では、リハビリテーションという大きな目標のために理学療法・作業療法を実践するセラピストを養成します。この点を踏まえ、リハビリテーションを学ぶとともに、自らを表現することを経験し、対象となる方への理解を促すための能力を身につけられるよう配慮された授業を効果的に行っています。

将来の臨床現場における実践能力発揮につなげることを目的として、演習や学内実習、学外での臨床実習を教育の中核としながら、基礎・専門知識の確実な学修を促します。

【教育の特色ある工夫】

理学療法コース

- ・ 大学での学修の基礎となる科目（必修）として、初年次より基礎理学療法学、リハビリテーション概論、および臨床実習Ⅰを開講し、医療従事者としての自覚形成につなげています。また、セミナー科目、英語および情報リテラシー演習・DS（データサイエンス）概論を開講し、これからの時代を担う社会人としての教養とコミュニケーション能力を養っています。
- ・ 専門基礎科目の人体の機能・構造や専門科目である各領域の治療学を基礎として専門的な知識と技術を身に付け、学年毎にステップアップしながら専門職としての自覚と資質を育んでいます。
- ・ 臨床現場を意識した知識や実技を修得するため OSCE（客観的臨床能力試験）を実施し、実践的な能力を身につけることで創造力豊かな逞しい人間愛にあふれた人材を養成しています。
- ・ 「健康・医療・スポーツ」の3本柱において、小児から地域高齢者、スポーツ選手まで幅広くサポートできる理学療法士育成のため、各領域の治療学実習・パラスポーツ・帝京平成スポーツアカデミーとの協力を通じ、実学教育を実践しています。

作業療法コース

- ・ 1年次から4年次まで、各学年に応じた学外実習を設定し、各学年での学修目標を段階的・効率的に学修できるよう配慮しています。また、2023年度からは、学部全体の多職種連携教育推進に積極的に関わっています。

- ・ 学外臨床実習では、2016 年度からいち早く臨床参加型実習（クリニカル・クラークシップ；CCS）を導入し、安全かつ安定した実習の推進に努力しています。教員は、この実習形態から学生が主体的・積極的に学修できるよう実習とも連携・協力しています。
- ・ 専門科目では、実習科目を多く取り入れ、より実践的かつ卒後の即戦力育成に向けた教育カリキュラム体制を構築しています。また、2023 年度開始の市原市市津地区活性化&大学連携の中核を担い、学生参加のワークショップや地域活動による当事者との交流をもとに実践力向上につなげています。
- ・ 大学4年間を通じ、各学年にてセミナー科目を配置しています。あわせて担任制をとり、学生の学修内容だけの指導に留まらない、学生生活全般におけるサポート体制を教員一丸となって展開しています。
- ・ 作業療法コースは、2021 年、韓国の大学と学術交流協定を締結しソウルリハビリテーション研修を開始しました。学生が国際的視野を広げられるよう国際交流プログラムを準備し、学科・コースとして学生のダイバーシティ教育にも力を注いでいます。